

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 25 年 5 月 8 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

| | |
|-----------------|---|
| 排出削減事業名 | 施設園芸におけるヒートポンプ導入による省エネ事業 |
| 承認番号 | JCDM-PJ0017 |
| 排出削減事業者名 | 有限会社岡松バラ園 |
| 排出削減共同実施事業者名 | 四国電力株式会社 |
| 事業実施場所 | 岡松バラ園（徳島県海部郡海陽町富田字南沢 1 7 5 - 1） |
| 事業の概要 | バラ施設園芸ハウスにおいて、冬季の暖房熱源として既存 A 重油ボイラーに電気式ヒートポンプ温風空調をベース電源として追加し、ハイブリッド型空調システムによるハウス暖房の省エネおよび CO2 排出量の削減を図るもの。 |
| 排出削減量の計画 | 674 tCO2/年（事業実施期間合計 2,696 tCO2） |
| 国内クレジット 認証期間 | 開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号 004 空調設備の更新 |

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 1 月 1 日～2013 年 3 月 31 日（第 5 回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|--------------|---|
| 排出削減量 | 292 tCO ₂ (2013年1月1日～2013年3月31日) |
|--------------|---|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 実績確認手続き |
|--|--|
| 排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること | 排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1)承認済み排出削減事業計画に従い、高効率園芸用ヒートポンプが導入されていることを事前審査の現地訪問の際に確認している。 2)本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績により確認済み。 3) 事業開始日については、事業計画通りであることを事業者への質問やエネルギー使用実績データにより確認した。 4)その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。 |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること | 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1)モニタリング方法については、承認事業計画に従って、エネルギー自動遠隔計測システムによる新設ヒートポンプ自体の使用電力量の計測・データ蓄積が実施されていることを確認した。 2)ヒートポンプ電力使用量の計測値の記録・保存については、報告期間中に渡り、電力使用量データが自動計測システムに記録・保存されており、本データが正確に集計されていることを、関係者への質問、月次および日次データの確認、検算や集計データの突合等により確認した。 3)排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排 |

| | |
|-------------------------------------|--|
| | <p>出係数等が、排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他 排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p> |
| <p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p> | <p>算定期間は 2013 年 1 月 1 日～2013 年 3 月 31 日までであり、2013 年 3 月 31 日を超えない。</p> |

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算 74.0kl であることを確認した。

以上